

朝夕の風にようやく秋の気配が感じられる季節となりましたが、先日の記録的な大雨により被災された皆様、また避難を余儀なくされ不安な時間を過ごされた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

本校におきましては、おかげさまで大きな被害もなく、子どもたちは元気に登校し、日々の学習や行事の練習に励んでおります。大雨の際には、保護者の皆様や地域の皆様による児童の安全確保への迅速なご協力、温かい見守りをいただき、心より感謝申し上げます。今後も気候の急変や災害への備えを万全にし、安全第一の学校運営に努めてまいります。

避難訓練 川系東

9月3日（木）に土砂災害を想定した避難訓練を実施いたしました。冒頭でも申し上げたとおり、千葉県内におきまして、1ヶ月で3度の大雨による被害を受けたことは記憶に新しく、特に先日の台風25号では、旭市でも本校学区を含む複数箇所での土砂崩れが発生いたしました。

旭市のハザードマップによると、本校は「急傾斜地崩壊危険箇所」に学校敷地の東(山)側約半分ほどが含まれているため、有事の際には、まず3階(最上階)への垂直避難をした後、山(崖)から最も遠い図工室等に避難することになっています。

また、訓練が終わった後、放送で以下の話をいたしました。

接近中の台風26号も心配です。ご家庭でも大雨の際の危険性について一度話し合ってみてはいかがでしょうか？



避難訓練後の校長の話（放送）

今日は「土砂災害」という、山や崖が崩れる危険についてお話します。大雨が降ると、山や崖の土がたくさんの水を吸って、急に崩れてくることがあります。これが土砂災害です。とても大きな石やドロドロの土が、20キロから40キロ、クルマと同じくらいのスピード。高いところから崩れてくる場合はもっと早いスピードで飛んでくることもあるそうなので、とても危険です。大雨のときや、雨が止んだばかりのときに、山や崖の近くでこんなことが起きたら、それは「**すぐに逃げて！**」の合図（あいず）です。目と耳と鼻で覚えてください。

- ・崖から変な水が出る：崖から濁った（にごった）水が噴き出してくる。
- ・変な音が聞こえる：山の奥から「ゴロゴロ」「バリバリ」と地鳴りがする。
- ・木が動く：山の木が斜めに傾いたり、根っこが切れる音がする。
- ・変な臭いがする：土の腐ったような臭いがしてくる。
- ・川が急に減る：雨が降っているのに、急に川の水が少なくなったら、上流で土砂が詰まっている証拠です。

もし危ないと思ったら、次の3つの約束を守ってください。

【約束1】大人の人とすぐに逃げる

- ・危ないサインに気づいたら、先生や家の人にすぐ伝えて、一緒に逃げましょう。

【約束2】崖や川には絶対に近づかない

- ・雨が降っているときは、様子を見に行ってはけません。

【約束3】外が暗くて逃げられないときは「2階の山と反対側」へ

- ・夜になって外が真っ暗なときや、大雨で外に出るのが危ないときは、お家の中で一番安全な場所に移動します。
- ・山や崖から一番遠い部屋の、2階（高いところ）へ行って静かに過ごしましょう。

土砂災害は、あっという間にやってきます。まずは、大雨の日は「**山や崖の近くで遊ばないこと**」。そして、お家の人と「**危ないときはどこに逃げるか**」をあらかじめ話し合っておいてくださいね。自分の命は、自分でしっかり守りましょう。

科学作品展

9月5日（土）旭市児童生徒科学作品展が海上公民館で行われました。

滝郷小学校からは、4名の作品が代表として出品され、3名が優秀賞をいただきました。

また、1年生の作品が特選に選ばれ、会場で表彰されました。

4名のみささん、おめでとうございます。



4年生「人権教室」

人権擁護委員の加瀬様を講師に迎え、9月9日（水）に4年生で「人権教室」が行われました。今回のテーマは「いじめ」です。動画を見ながら、いじめられている人の気持ちを考えたり、「いじめ」をなくすために自分ができることを考えたりすることができました。



3年生「校外学習」

9月25日（金）3年生が「ナリタヤ旭萬力店」に見学に行きました。

バックヤードや、巨大な冷凍庫など、普段入ることができない所に入れてもらい、貴重な体験ができました。

見学が終わった後は、家庭で相談した品物を実際に購入する買い物体験も行いました。みんな上手にお買い物ことができました。

